

# 浄心寺だより

発行  
浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081  
笠岡市笠岡2065  
電話(0865)62-2623  
FAX(0865)62-2595  
振替01260-9-13760  
<http://joshinji.suki-ari.net/>



平成26年10月23日 浄心寺佛教婦人会 於 京都大原三千院

人間社会で助けあいは大切なことです。その助けあいとは、私が人を助け、人が私を助けるということでしょうか。どうも違うようです。そうではなく、私のできる限りのことをして人の為になることだと思います。

それでは私だけ損をすると考えている間は、助けあいではなく、助けられあいの心ではないでしょうか。その考え方からは、頂いた人の力は不満の種としか思いにくいようです。

私が本気になつて人の為になろうと努力してみたとき、いかに私の力が小さいか、反対に人のしている力が大きいか、そしてその人の力は私へ働いて下さつていたかに気づかされます。助けあいとは、これまでのおかげに感謝し、今、私にできることを、たとえ小さくても精一杯やらせていただくご恩報謝のことだと思いたいものです。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

助けあい

「み法を味わつて」(五)

ごあんない

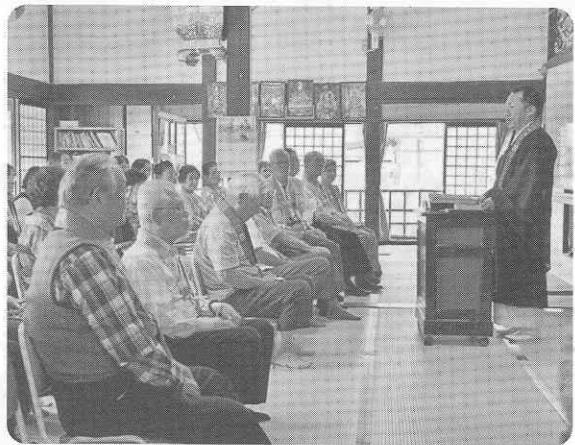
十一月六日(土)一時半より

**報恩講**

ご法話 福山市光円寺

平山智正師

## 秋季彼岸会、永代経法要つとまる



秋季彼岸会をお勤めした後、福山市神辺町、光行寺の苅屋光影先生のご法話を拝聴しました。

身近な話題で浄土真宗のみ教えを平易にお話しくださいました。

一同で阿弥陀経をお勤めした後、秋季彼岸会および門信徒総追悼永代経法要が勤まりました。朝晩はめつきり寒くなり、秋晴れの中での法座となりました。

私は大事なことをついつい後回しにしてしまいがちですが、何が大切か、お聴聞でしつかり聞かせていただきましょう。

幽霊の姿は、今の私たち自身の姿だといわれました。髪が長いのは後ろ髪をひかれる過去にとらわれた姿、手を前に出すのは未来を追い求め、夢見る姿、足がない姿。

私は「希有人」とあります。不平、不満、愚痴ばかりの私たちが、お念仏の教えに出逢えるのはまことに稀なことであり、ありがたいこと

ご法話は東広島市豊栄町の興学寺住職、覚王地昭見師。

先ごろ新しいご門主が誕生されました。が、多くの方が、多くの方々にご参拝いただきました。

まだ梅雨空ではつきりせず、蒸し暑い日となりました。が、多くの方が、多くの方々にご参拝いただきました。

とあるという意味だそうです。先生は「心のサポート」として子供たちの話し相手もなさっています。どんな悪い子でもきちんと向き合って話を聞いてやれば本音を話すこと。授業に出す相談室ばかりに来ていた子が、最後に、自分はみんなから気にかけられてもう幸せだ、と言ったそうです。この子の気づいたおかげさまで、先生は大変感銘を受けられたとのことです。

## 虫干し法座

### やさしい仏教講座

#### 平成27年の予定

副住職による「やさしい仏教講座」の来年の予定です。『高校生からの仏教入門』に沿って進めていきます。これまで「お釈迦さまの教え」を学んできましたが、いよいよ来年からは、後半の「親鸞さまの生涯」に入ります。どうぞお説き合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

第31回	2月2日(月)
第32回	4月6日(月)
第33回	6月8日(月)
第34回	8月22日(土)
第35回	10月6日(火)
第36回	12月3日(木)

毎回午後7時30分より9時まで

解説: 津田明雅副住職

会場: 浄心寺礼拝堂(イス席)

聴講料: 不要



## 全戦争犠牲者をしのんで

### 第十九回備後教区

## 「平和の集い」

九月三十日（火）浄土真宗本願寺派備後教区主催の平成二十六年度第十九回備後教区「平和のつどい」が井原市芳井生涯学習センターに備中里組、中組、奥組からそれぞれのご住職、総代及び門信徒等関係者ら三百九人が参加して開会式で正信偈のお勤めの後、菊池宗城備後教区教務所長の開会挨拶、真宗大谷派僧侶元沖縄県読谷村議員の知花一昌さんが「全戦没者を偲んで平和を築く道―沖縄から見える日本の平和、そして親鸞さん」と題して講演。



知花さんは人権侵害が長く続いたハンセン病の人達への支援活動に関わっていた時に「仏教は民衆の為にある」という親鸞の教えに出会った事、又沖縄は一九七二年に米国の支配から逃れたが基地は残り現在沖縄は構造的な差別を受けている事、又怒りは深い悲しみの中から生まれる、という言葉を噛み締めたい等々話されました。

講演の後、三線で二見情話（反戦歌）、命口説（命の尊さを説く歌）等五曲の演奏を披露された。

閉会式では中組光榮寺の佐藤英子氏より「今、戦争犠牲者の思いに応え、真に平和を築いていくため」のアピール文の朗読の後、全員で「恩徳讚」を唱和して閉会しました。

浄心寺から十七人参加しました。

### 【お詫び】

七月号で掲載致しました第五期連研の研修終了者のお名前が藤井正俊さんとあるのは藤井俊治さんでした。訂正してお詫び致します。

## サマースクール開催

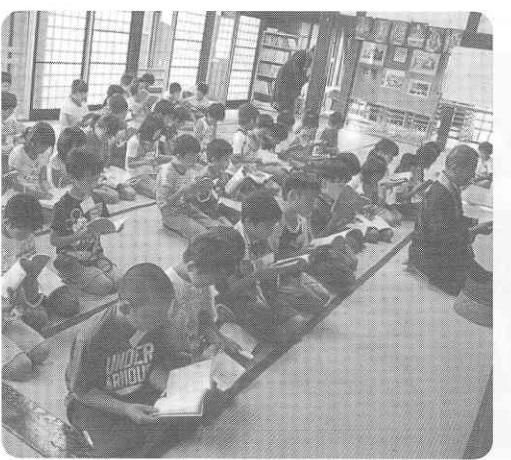
ほとけのこども六十名参加

7月22、23日にサマースクールが開かれました。小学生60名が参加、3名の若手僧侶の指導のもと、一泊二日を過ごしました。

仏前でのマナーや作法を習ったり、Tシャツづくり、ゲーム、ほ

とけさまのお話も聞きました。夜はキヤンプファイヤーと花火、希望者はさらに室内で暗夜行路をしました。本堂と庫裡に分かれ就寝。

翌日にはウォークラリーで街に繰り出しました。また神島の村上美津香さんに折り紙をご指導いただき、夏のいろんな虫を折り、それらを台紙に貼り付けた作品を作りました。解散後、藤井俊治さん他



## サマースクールだのしがつたよ

一年生 ふじいくるみ

なつやすみに、じょうしんじのサマースクールにいつたよ。

はじめは、しらないこばかりではずかしかつたけど、だんだんおともだちになれたよ。

・ティーシャツにえをかいたり、おりがみのせんせいに、せみのおりかたをおしえてもらつたよ。いちばんうれしかつたのは、テラリシピックのゲームでわたしのチームが一ばんになつたことだよ。

・じゅうしょくさんが、おしえてくれたよ。ひいじいちゃん、ひいちゃん、またひいのつくおじいちゃん、おばあちゃんたちは、ぜんいんあみださまのせかいでおわたしたちをみまもつてくれているんだつて。あみださまは、やさしいねとおもつたよ。

・さいごにみんなでたべたスイカは、とつてもおいしかつたな。らいねんもまたいきたいよ。

提供のスイカをいただきました。子供たちにとつては楽しく貴重な体験をすることができました。当寺佛教婦人会には食事の調理、清掃等でご協力いただきました。

## 仏婦コーナー



### 「大原三千院・宝泉院」

を訪ねて  
樹平 敬子

浄心寺仏教婦人会研修旅行

十月二十三日、前日の大雨も上がりつて爽やかな秋晴れのもと、三十六名を乗せたバスは千年の都、京都へと向かいました。

研修の順路はまず西本願寺へ参拝、そして大原の里へと移動後は食事処にて京料理を前に楽しく昼食タイムを過ごし、午後からは三千院・宝泉院を訪ねました。

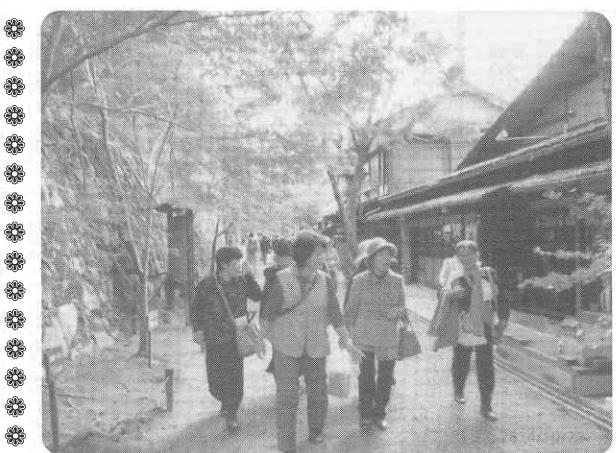
この三千院は城郭のような石垣が重厚な味わいを醸し出し、緑の苔に埋め尽くされた庭では黄金色に染まつた紅葉に出会えませんでしたが、四季折々の美しい自然が漂う風情をしつかりと感じました。

また、宝泉院では関ヶ原の戦いで敗れた伏見城の遺構となる血天井を仰ぎ見て、さらには額縁庭園から樹齢七百年もの五葉松の大木など、まさに庭園三昧を満喫したのです。

入会して二年、初めての研修旅

行でしたが皆様にすっかり溶け込んで楽しい一日を過ごすことができました。これからもどうぞ宜しくお願ひいたします。

## 清掃奉仕



九月七日(日)、秋季彼岸会をひかえ、本堂・境内の清掃をしました。五十三名のご協力によりお寺の内外がとてもきれいになりました。

## 報恩講 お斎のご案内

12月6日(土)正午  
聚園・和室にて

お斎とは仏事の時の食事のことです。仏教婦人会のみなさんが丹精込めて調製してくださいます。遠慮は無用です。お誘いあわされお席にお着きください。



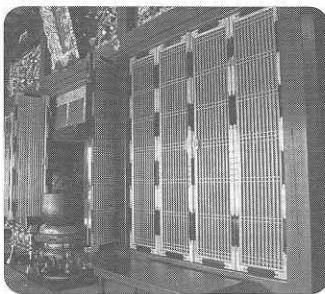
七月六日(日)、笠岡市入江にある施設「ドルフィン」を訪問しました。文化等の演奏、コーラスによる仮装歌舞などを披露しました。手遊びをしたり、懐かしい曲になると一緒に口ずさむなどとても楽しい時間を過ごしました。



七月二十二日(火)、二十三日(水)と小学生を対象にサマースクールが開催されました。調理等子供たちのお世話をさせていただきました。

## 施設訪問

## サマースクール協賛

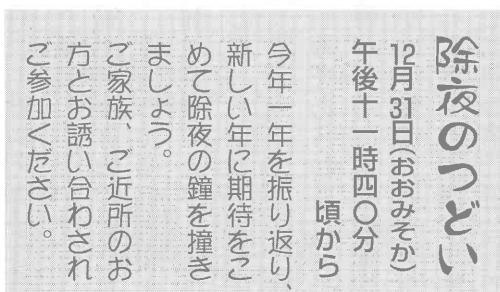


これまで大きな行事の際に取り外しに苦労していましたが簡単にできるようになりました。

平成27年 年回表

回忌	往生年
1周忌	平成26年
3回忌	平成25年
7回忌	平成21年
13回忌	平成15年
17回忌	平成11年
25回忌	平成3年
33回忌	昭和58年
50回忌	昭和41年

該当のお方には別途お知らせいたしますが、  
遗漏することもありますので、ご留意・ご  
確認の上、ご法要の日時をご相談ください。



第24回  
**新春のつどい**  
1月24日(木)正午より  
浄心寺聚園和室

門信徒のみなさんが一堂に会して親睦を深めるつどいです。カラオケ、舞踊などの「かくし芸」、文化審の弾き初めもあり、楽しいひとときをお過ごしください。また豪華？景品の当たる「福引」もあります

(今費つ毛田)

## 卷障子が調う

## 第6期の 重打

第十九世住職継職記念として門信徒の皆さんにご懇意のお願いをしていますが、おかげさまで順調にご進納が運んでいます。

その記念事業の一つであります。本堂の巻障子が新調されました。消費税増税前に契約発注していいた関係で記念法要に先駆けて納入

取り付け工事に当たりこれまで  
の障子戸当たりを取り除くと祖師  
(親鸞さま)前と御代前(蓮如さま)  
には襖がしつらえてあつたのか敷  
居状になつており、その溝部分に  
何を意味するのか一文錢がならべ  
てありました。

新調された巻障子は、手打ちの飾り金具が施され、京都の仏具師が念入りに制作したものです。

この連続研修会（連研）は私たちが日頃抱えているご法義上の味わいや疑問など12のテーマに沿って話し合いながら教える理解を深めていこうという研修会です。本期はこのたび新たに制定された「連研ノートE」をテキストに沿つて進められます。

第一回は十月十六日に淨心寺を会場にして開かれました。

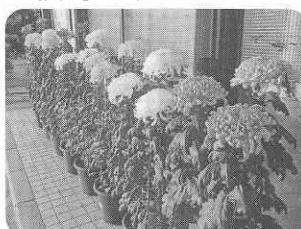
なお、当寺からの参加者は

第一回は十月十六日に淨心寺を会場にして開かれました。

伊藤 克巳 きん（有田）  
宍戸 得二 さん（上田頭）

献菊  
ありがとうございます

横島 長安圭一さん



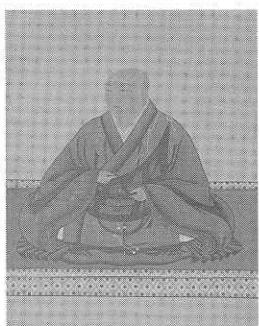
開催は偶数月の第3木曜日の午後1時から4時です。会場は組内のお寺を巡回します。

## 還淨(げんじょう)

濱谷森徳鈴木小山中西早瀬藤井西村山下明石小林長安赤田小柳富久枝津田藤井妹尾正太郎  
 勝雄茂雄行昭美三恵良一弘登忠惇隆庄一好子久子ノヨノ進子好子久子ノヨノ進子好子久子ノヨノ進子  
 10 10 10 10 9 9 9 9 8 8 8 8 8 8 8 8 8 7 7 7 7 7 7 6 6  
 .  
 22 6 6 4 28 17 11 7 31 26 23 18 14 8 8 1 29 25 18 5 1 20 16  
 58 83 88 74 88 53 68 62 76 79 86 24 87 10 98 79 08 77 80 92 94 62 86  
 大井南浦江入福山市上田市桶神島外市倉敷市浅口市神戸市北山市下里庄町金浦金浦舟隠  
 福山市大宜横島市西の浜福山市西の浜福山市西の浜福山市西の浜福山市西の浜福山市西の浜

# 淨心寺の法寶物

その 8



「明傳壽像」（部分）

宝永六年(1709)は当寺第

亀屋太郎右衛門が商用で鞆の津に出かけた際、明円寺で開かれていた法座の講師であつた明傳の教化を受け、これを機縁に浄心寺の復興を懇願した。明傳はこれを受け入れ浄心寺に入寺し第六世として一寺の結構をととのえ、木仏本尊

ぞれ草原と砂漠を横断するシルクロードを利用して、インド(天竺)と中国の間を往来し、たくさんの経典や舍利・仏像などが中国にもたらされました。それにつけても忘れてはならないことは、インドから中国に伝来された経典を翻訳した人たちのことです。私たちが現在用いている

## 2、仏教のあゆみ

3 中國の儀式



## 教えと そのあゆみ



漢文の經典の多くは、この人たちの努力によつたものですが、中の三蔵法師のこと、多くの經典に通じて翻訳をした人のことをいいます。が、とくに玄奘三蔵は大旅行家としても著名な僧で、その著『大唐西域記』は孫悟空で名高い『西遊記』の底本になつたものです。

しかし、仏教が中国人自身の思索と実修によって、それこそ中国の仏教とよんではよい仏教が生まれるようになつたのは、ずっと後の隋・唐の時代になります。すなわち、三論宗と天台宗は隋の時代、

六世の住職です。開創以来、門信徒の数も少なく困窮を極め住職不在という事態にあつた中、豪商・亀屋太郎右衛門が商用で鞆の津に出かけた際、明円寺で開かれていた法座の講師であつた明傳の教化を受け、これを機縁に浄心寺の復興を懇願した。明傳はこれを受け入れ浄心寺に入寺し第六世として一寺の結構をととのえ、木仏本尊

の允許、寺号「浄心寺」の公称允  
許、数百畝の境内地の付与、旧坊  
を廃し現在地に五間本堂建立（の  
ち自火炎上）、鐘楼建立など急ピッ  
チで復興に努めたと伝えられています。  
これら数々の業績の上から、のちのち「中興の祖」と讃えら  
れています。このほか『百通切紙』  
といふいわば仏教全般の手引書を  
著しています。

その跡を繼がれた第四祖の道綽禪師も、「安樂集」という大著を発表されて、隋・唐の淨土教に多大の寄与をされました。この禪師の教えを受けられた第五祖善導大師の業績については、親鸞聖人が「善導獨明仏正意」(正信偈)と讚えておられますことは改めて述べるま

確立されました。大師は天親菩薩の『淨土論』を研究して『往生論註』という名著をあらわされ、その思想的影響がいかに強く親鸞聖人に及んだかは、鸞の一字をいただかれていることでも想像できます。そこで七高僧の第三祖として曇鸞大師を敬仰されたのですが、

法相宗・華嚴宗・律宗・禪宗は唐代に生まれた新しい宗派です。淨土教は雲岡石窟寺のできた北魏の時代に、中国の北部で活動された曇鸞大師によつてその基礎が

でもないほど偉大なものがあります。

しかし、隋・唐時代に栄えた正宗派も、後にはほとんど衰えたり亡んだりしてしまいました。支配層と結びついた仏教や、学問中心の仏教が、真っ先にその運命をたどつたのです。しかし、理屈よりも先ず実行を第一とする禅と念佛の教えだけは、今日もなお長い生命を持ち続けています。

編集後記

◎浄心寺ホームページ  
<http://joshinji.suki-ari.net/>

このたび、浄心寺のホームページに掲示板の機能を追加しました。寺からの情報発信だけでなく、みなさんからのご意見等を書き込んでいただけます。特にお仕事や家事でお寺参りの難しい方に積極的に書き込んでいただき、日ごろの疑問等を解決していただければと思います。匿名でも構いませんので遠慮なく書き込んでください。

錦秋の境内、渡る風も穏やかな季節、お念佛の声が空に透きとおる候となりました。

来る十二月六日の宗祖報恩講のご案内と、本年のサマースクール、仏婦研修旅行、役員会の報告等をお知らせする浄心寺だより第二〇九号をお届けします。